

令和元年 5 月吉日

日本肝臓学会
竹原徹郎 理事長 ご机下

ギリアド・サイエンシズ株式会社
代表取締役社長 ルーク・ハーマンス

「会員様への周知のお願い」

謹啓 時下、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、この度、エプクルーサ配合錠の発売に伴い、下記の「適正使用のお願い」へのご協力を肝臓学会会員様に周知して頂きますようお願い申し上げます。

謹白

記

医療関係者の皆様へ

C 型非代償性肝硬変の治療に対する「エプクルーサ® 配合錠」
適正使用へのご協力のお願い

平素よりソホスブビル／ベルパタスビル製剤（販売名：エプクルーサ®配合錠、以下本剤）を非代償性肝硬変の患者様にご処方いただきありがとうございます。

これまで本邦では、C 型非代償性肝硬変患者に対する直接作用型抗ウイルス剤（DAA）を含む抗ウイルス療法による治療法がありませんでしたが、本剤の発売により、C 型非代償性肝硬変のウイルス排除を目的とした治療が初めて可能となりました。すでに多くの先生方が患者様に本剤を処方していただいていることに感謝申し上げます。

一方、本邦におきましては、C 型非代償性肝硬変の DAA による治療実績はなく、また本剤の国内第 3 相臨床試験では Child-Pugh 分類で 13 点以上の患者は除外されております。従って、本剤による重篤な C 型非代償性肝硬変の治療は、診療実績のある肝臓専門医によって注意深く行われることが重要だと考えております。

特に、腹水、静脈瘤や感染症の兆候の監視など非代償性肝硬変に伴う症状の管理には十分な注意を払っていただくようお願い申し上げます。

弊社エプクルーサの製品ページ(<https://www.epclusa.jp/proper/eppv#section-top>)にて市販直後調査報告を掲載しております。こちらもぜひご確認いただき適正使用の参照としていただければと思います。(アクセス方法詳細は下記にあります)

つきましては、本剤によるC型非代償性肝硬変の治療については、日本肝臓学会肝臓専門医へご紹介いただきますよう、宜しくお願いします。

なお日本肝臓学会肝臓専門医については下記 URL をご覧ください。
http://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists_list

エプクルーサ市販直後調査報告アクセス方法

- (1) <https://www.epclusa.jp/proper/eppv#section-top> 弊社製品ページにアクセス
- (2) トップページより「医師」を選択
- (3) ページ下段の「市販直後調査の報告」右端三角マークをクリック

または下記リンクから第一回市販直後調査報告のダウンロードをいただけます
https://www.epclusa.jp/-/media/files/gilead/epclusa/product/proper/epc-eppv_1st.pdf?la=ja-jp&hash=6B7DA4ED58A2C67633C2F12F7A49AA05

本剤に関するお問い合わせ先：

メディカルサポートセンター：0120-506-295

(9：00-17：30、土・日・祝日及び会社休日を除く)

以上